

岡山県感染症週報 2026年第17週 (4月20日～4月26日)

岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』を発令しました(4月27日)

【お知らせ】2026年第18週(4/27～5/3)と第19週(5/4～5/10)の感染症週報は、2026年5月15日(金)にホームページへ掲載いたします。

◆2026年第17週(4/20～4/26)の感染症発生動向(届出数)

■全数把握感染症の発生状況(第17週届出分)

第15週 2類感染症 結核 1名(20代 女)

第16週 3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1名(O103:30代 女)

5類感染症 梅毒 1名(20代 女)

百日咳 2名(30代 女1、80代 男1)

第17週 2類感染症 結核 5名(20代 男1・女1、70代 男1、80代 男1・女1)

3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 3名(O103:幼児 女1、20代 女1、
O血清群不明:20代 女1)

4類感染症 E型肝炎 1名(70代 女)

5類感染症 梅毒 3名(10代 女1、50代 男2)

百日咳 1名(80代 男)

効果的な場面で
のマスク着用!



©岡山県「ももっち」

■定点把握感染症の発生状況

患者報告医療機関数:ARI 定点50、小児科定点28、眼科定点12、STD 定点18、基幹定点5

○インフルエンザは、県全体で40名(定点あたり0.80人)の報告がありました。

○新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、県全体で27名(定点あたり0.54人)の報告がありました。

○急性呼吸器感染症(ARI)は、県全体で2,954名(定点あたり59.08人)の報告がありました。

1. [インフルエンザ](#)は、県全体で40名の報告があり、前週から減少しました(定点あたり1.44 → 0.80人)。岡山県は「[インフルエンザ注意報](#)」を発令し、広く注意を呼びかけています。詳しくは「[インフルエンザ週報](#)」および岡山県感染症情報センターホームページ「[『2025/26年シーズン インフルエンザ情報「インフルエンザ注意報」発令中!』](#)」をご覧ください。
2. [新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)](#)は、県全体で27名の報告があり、前週とほぼ同数でした(定点あたり0.52 → 0.54人)。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ「[『新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)情報』](#)」をご覧ください。
3. [急性呼吸器感染症\(ARI\)](#)は、県全体で2,954名の報告があり、前週から増加しました(定点あたり51.48 → 59.08人)。詳しくは、「[☆急性呼吸器感染症\(ARI\)情報](#)」および岡山県感染症情報センターホームページ「[『急性呼吸器感染症\(ARI\)情報』](#)」をご覧ください。
4. [腸管出血性大腸菌感染症](#)は、2026年第17週に3名の報告があり、2026年の累計報告数は19名となりました(2025年の同時期:12名)。岡山県は4月27日に「[腸管出血性大腸菌感染症注意報](#)」を県下全域に発令し、注意喚起を図っています。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ「[『腸管出血性大腸菌感染症注意報を発令しました!』](#)」をご覧ください。
5. [梅毒](#)は、2026年第17週に3名の報告があり、2026年の累計報告数は52名となりました(2025年の同時期:87名)。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ「[『梅毒について』](#)」をご覧ください。

流行の推移

疾病名	定点あたり報告数		推移	疾病名	定点あたり報告数		推移
	前週	今週			前週	今週	
インフルエンザ	1.44	0.80	↓	突発性発しん	0.32	0.57	↑
COVID-19	0.52	0.54	→	ヘルパンギーナ	0.14	0.14	→
急性呼吸器感染症(ARI)	51.48	59.08	↑	流行性耳下腺炎	0.11	0.07	↓
RSウイルス感染症	0.61	0.68	↑	急性出血性結膜炎	0.00	0.00	→
咽頭結膜熱	0.32	0.18	↓	流行性角結膜炎	0.08	0.00	↓
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.04	2.86	↑	細菌性髄膜炎	0.00	0.00	→
感染性胃腸炎	6.11	5.57	→	無菌性髄膜炎	0.00	0.00	→
水痘	0.21	0.50	↑	マイコプラズマ肺炎	0.40	0.00	↓
手足口病	0.54	0.89	↑	クラミジア肺炎	0.00	0.00	→
伝染性紅斑	0.07	0.11	↑	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.00	0.00	→

【記号の説明】 前週からの推移

↑ : 増加

→ : ほぼ増減なし

↓ : 減少

増加・減少 : 前週比10%以上の増減

ゴールデンウィークに海外へ渡航される方へ

海外には、日本国内に存在しない感染症が多くあります。
渡航先の感染症に対する予防対策が必要です。

出発前の注意

- ・感染症に対する正しい知識と予防方法を身に付けましょう。
- ・渡航先の感染症の発生状況に関する最新の情報や注意事項を確認しましょう。
- ・これまで受けた予防接種について確認し、予防対策が不十分なものがあれば、予防接種を検討しましょう。

旅行中の注意

- ・生水、氷、カットフルーツ、サラダや生乳など、火が通っていないものを飲食することは避けましょう。
- ・肌の露出を少なくする、こまめに虫よけ剤を使用するなど蚊やダニに刺されないように注意しましょう。
- ・動物には、むやみに近づいたり、触らないようにしましょう。
(狂犬病や鳥インフルエンザなどのウイルスをもっていることがあります。)
- ・帰宅後は、しっかり手洗いをしましょう。



©岡山県「ももっち・うらっち」

帰国した後に

- ・帰国時に発熱や下痢などの症状がある方は、空港または海港の検疫所に相談してください。
- ・帰国時に症状がなくても、その後体調が悪くなったときは、早めに医療機関を受診し、その際は必ず渡航先も伝えてください。

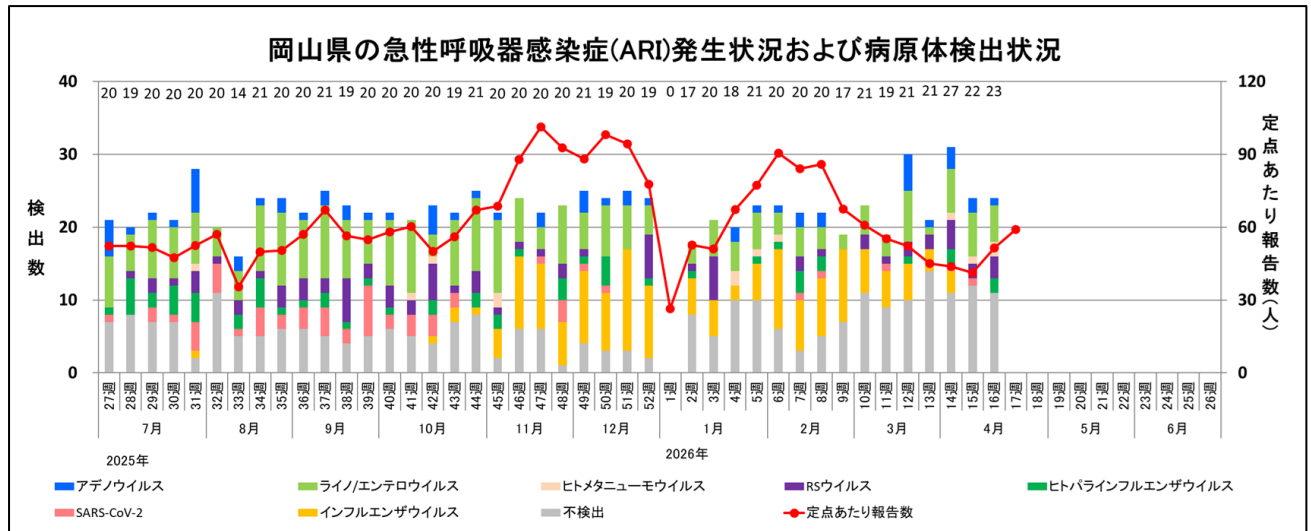
[海外へ渡航される皆様へ（厚生労働省）](#)

[海外渡航者向け 啓発ツール（厚生労働省）](#)

[海外へ渡航される皆さまへ！（厚生労働省検疫所 FORTH）](#)

★急性呼吸器感染症（ARI）情報

1. 岡山県の流行状況（第17週（4/20～4/26））



※病原体の検出については検体を採取した週に計上しています。

※1検体から複数のウイルスが検出された場合はそれぞれ計上しています。

※グラフ上部の数字は検体数を示しています。

※急性呼吸器感染症（ARI）定ポイント医療機関数：50医療機関（内科定ポイント22、小児科定ポイント28）

※急性呼吸器感染症（ARI）病原体定ポイント医療機関数：5医療機関（内科定ポイント2、小児科定ポイント3）

急性呼吸器感染症（ARI）は、県全体で2,954名の報告があり、前週から増加しました（定ポイントあたり51.48→59.08人）。地域別では、備中地域（96.00人）、岡山市（76.67人）の順で定ポイントあたり報告数が多くなっています。基本的な感染防止策（換気や手洗い・手指消毒、場面に依るマスクの着用を含めた咳エチケットなど）に留意し、感染対策に努めましょう。

2026年第17週に環境保健センターに搬入された検体はありませんでした。

2. 新型コロナウイルスゲノム解析結果

ゲノム解析の状況は以下のホームページをご覧ください。

○岡山県の状況

→ [新型コロナウイルスのゲノム解析（岡山県感染症情報センター）](#)

○全国の状況

→ [SARS-CoV-2変異株について（国立健康危機管理研究機構）](#)

国内での麻しんの報告数が増えています

2023年以降「麻しん（はしか）」の世界的な流行が続いており、海外からの輸入リスクが高まっています。その影響で、国内の報告数も増加（前年同時期比4.3倍（2026年4月22日時点））しており、引き続き注意が必要な状況です。

発生動向

- ・国内の患者は10-20代を中心にみられ、医療機関や学校、公共交通機関など、人が集まる場所での感染も確認されています。
- ・10-20代の患者では、2回のワクチン接種が済んでいない方や接種歴不明の方が約半数を占めていました。

お願いしたいこと

- ・麻しんワクチンの2回接種が確認できない場合は、医療機関にご相談ください。
- ・麻しんの流行がみられる国や地域に渡航する方は、接種歴を確認し、2回接種が確認できない場合は、渡航前の接種を検討ください。
- ・発熱、発しん、せき、鼻水、結膜充血など、麻しんが疑われる症状がある場合は、事前に医療機関へ連絡したうえで受診し、渡航歴や接触歴があればお伝えください。

麻しん（はしか）（厚生労働省）

海外渡航者への麻しんの注意喚起（厚生労働省）

[海外へ渡航される方へ](#)

[海外から帰国された方へ](#)



◆◆◆ 食中毒予防の3原則 ◆◆◆

岡山県は腸管出血性大腸菌感染症注意報を発令しました！（4月27日）

➤ 「清潔」（菌をつけない）

- ・調理前、食事前、トイレ後には、石けんと流水で手をよく洗いましょう。
- ・まな板、ふきん等の調理器具は、十分に洗浄・消毒を行いましょう。
- ・焼肉をする時は、生の肉をつかむはしと食べるはしを使い分けましょう。

➤ 「迅速・冷却」（菌を増やさない）

- ・生鮮食品や調理後の食品は、できるだけ早く食べましょう。
- ・生鮮食品や調理後の食品は、10℃以下で保存しましょう。
（生食用鮮魚介類は、4℃以下で保存するよう努めましょう。）

➤ 「加熱」（菌をやっつける）

- ・加熱して食べる食品は、中心部まで十分に火を通しましょう。
- ・特に、食肉は中心部の色が完全に変わるまで十分に火を通し、生食は避けましょう（腸管出血性大腸菌は、75℃、1分間以上の加熱で死滅します）。

[食中毒予防の3原則（岡山県生活衛生課）](#)

[家庭でできる食中毒予防の6つのポイント（厚生労働省）](#)

[家庭でできる食中毒予防の6つのポイント（厚生労働省作成チラシ）](#)

ダニが媒介する感染症に注意しましょう！

野外にいる吸血性のダニとして、マダニやツツガムシなどが知られており、これらのダニの中には、**日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)***、**つつが虫病**などを引き起こす病原体を保有しているものがあります。

ダニは、春から秋(3月～11月)にかけて活発に活動します。

野外で作業する際は、肌の露出を少なくし、こまめに虫除け剤(マダニ、ツツガムシの忌避を効果としているもの)を噴霧するなどし、ダニに刺咬されないようにしましょう。

また、野外での作業後は、シャワーや入浴を行い、ダニが付いていないかチェックをしましょう。

※SFTSはSFTSウイルスに感染したイヌやネコからの感染も報告されています。

体調不良のペットや野生動物との接触は避けましょう。

★★ くわしくは、こちらをご覧ください ★★

- ⇒ [日本紅斑熱 \(国立健康危機管理研究機構\)](#)
- ⇒ [重症熱性血小板減少症候群\(SFTS\)に関するQ&A \(厚生労働省\)](#)
- ⇒ [ツツガムシ病とは \(国立健康危機管理研究機構\)](#)
- ⇒ [マダニ対策、今できること \(国立健康危機管理研究機構\)](#)



吸血後の
フタトゲチマダニ♀



ヤマアラシチマダニ

岡山県環境保健センター
ウイルス科 撮影画像

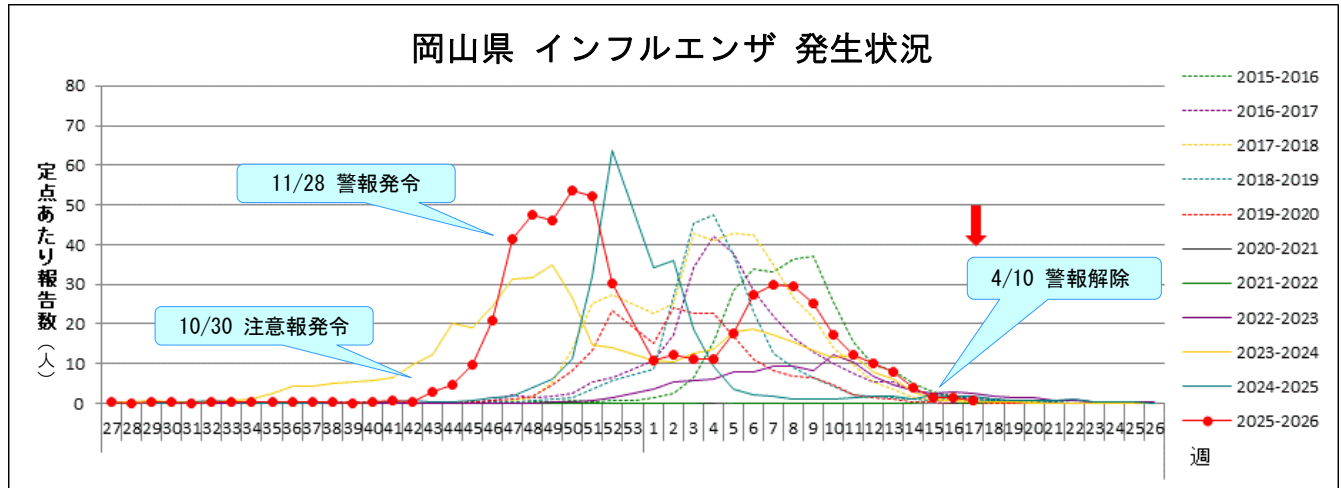
インフルエンザ週報 2026年 第17週 (4月20日～4月26日)

岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

【お知らせ】次週、2026年第18週(4/27～5/3)のインフルエンザ週報は、2026年5月15日(金)にホームページへ掲載いたします。

岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で40名(定点あたり0.80人)の報告がありました(50定点医療機関報告)。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。
- インフルエンザによる入院患者1名の報告がありました。



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

※2025年第15週以降定点がインフルエンザ/COVID-19定点(84医療機関)からARI定点(50医療機関)になりました。

インフルエンザは、県全体で40名の報告があり、前週から減少しました(定点あたり1.44→0.80人)。

岡山県は、『インフルエンザ注意報』を発令し、広く注意を呼びかけています。

地域別では、倉敷市(1.42人)、真庭地域(1.00人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。

県内の発生状況に注意するとともに、基本的な感染防止策(換気や手洗い・手指消毒、場面に応じてのマスクの着用を含めた咳エチケットなど)に留意し、感染対策に努めましょう。

1. 地域別発生状況

地域名	発生状況(人)		推移	地域名	発生状況(人)		推移
岡山県全体	患者数	40	↓	備中	患者数	3	↓
	定点あたり	0.80			定点あたり	0.60	
岡山市	患者数	13	↓	備北	患者数	1	↓
	定点あたり	0.72			定点あたり	0.25	
倉敷市	患者数	17	↓	真庭	患者数	2	↓
	定点あたり	1.42			定点あたり	1.00	
備前	患者数	2	↓	美作	患者数	2	↑
	定点あたり	0.50			定点あたり	0.40	

【記号の説明】前週からの推移
 ↑: 大幅な増加 ↗: 増加 →: ほぼ増減なし ↘: 減少 ↓: 大幅な減少
 大幅: 前週比100%以上の増減 増加・減少: 前週比10～100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ

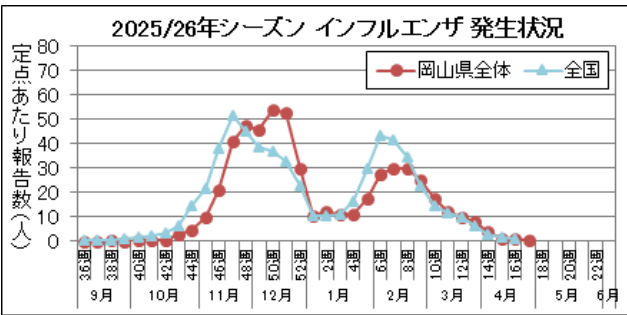
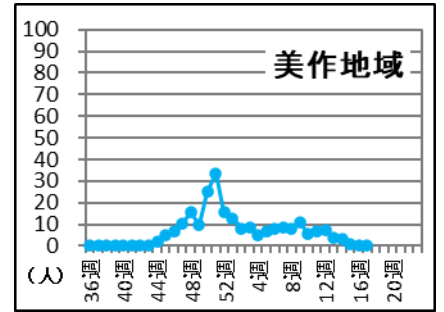
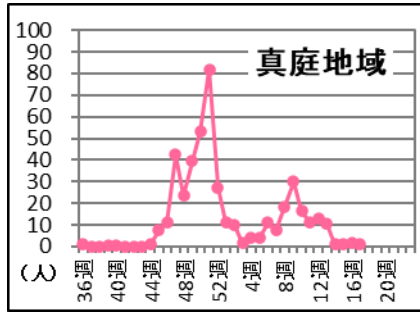
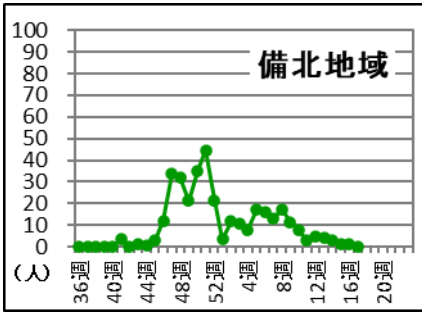
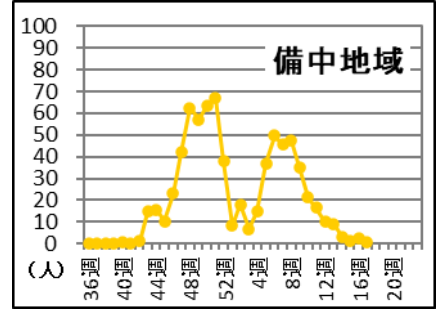
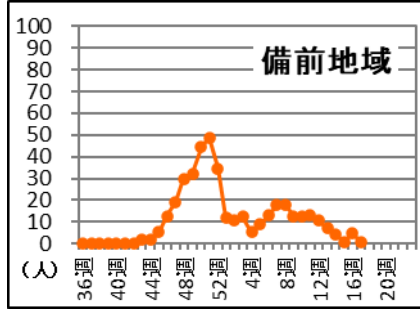
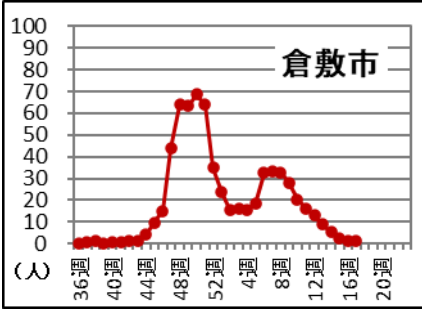
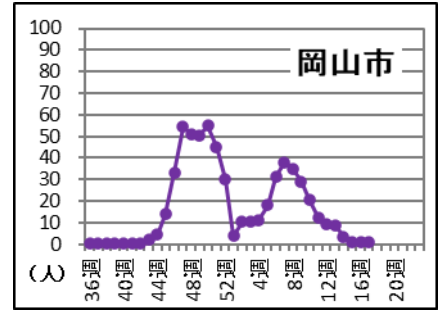


<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満

レベル1	報告なし
基準値	基準値
0 < 10 未満	0

※数字は定点あたり報告数

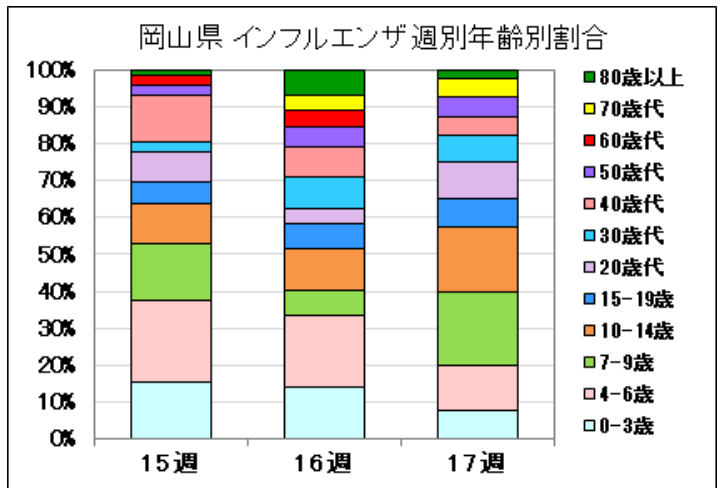
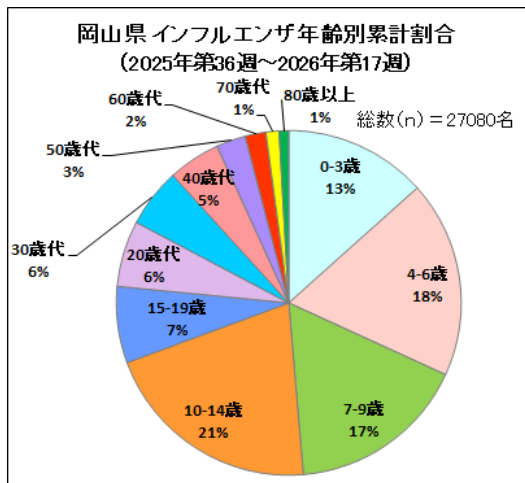


全国集計 2026 年第 16 週 (4/13~4/19) 速報値によると、全国の定点あたり報告数は、0.92 人となりました。

都道府県別では、山形県 (4.68 人)、沖縄県 (3.48 人)、北海道 (2.79 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。44 都道府県で前週の報告数から減少しました。

[インフルエンザの発生状況について \(厚生労働省\)](#)

2. 年齢別発生状況

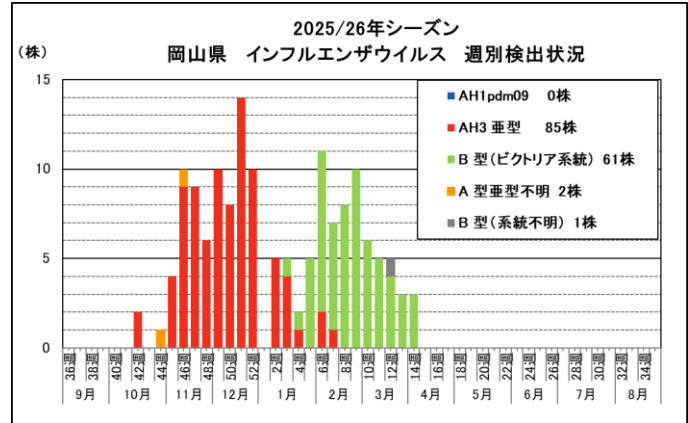
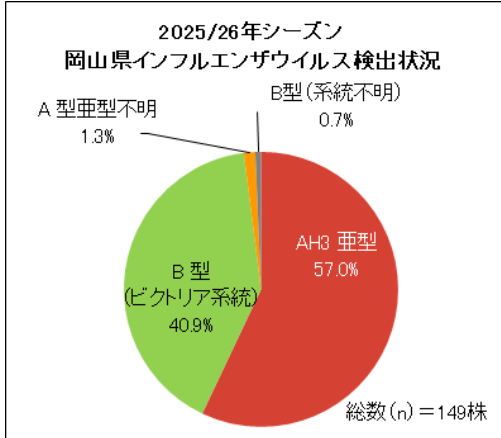


※定点医療機関は、小児科定点 (28 医療機関) が内科定点 (22 医療機関) に比べて多いため、報告数は小児に偏ります。

3. インフルエンザウイルス検出状況

【岡山県】

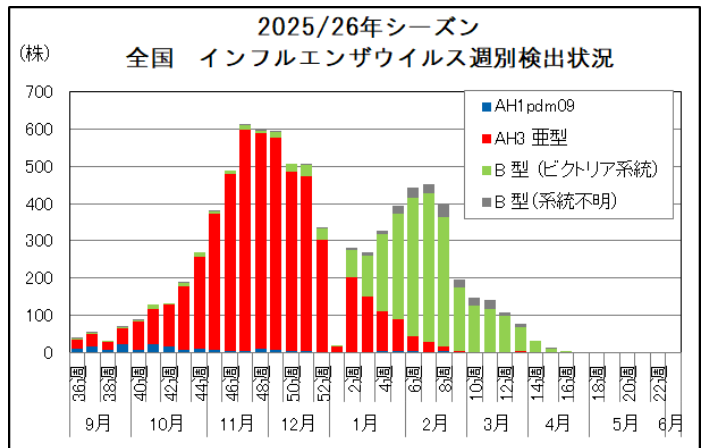
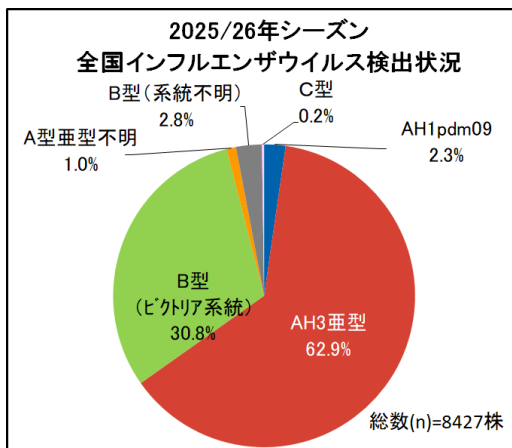
今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは149株で、AH3亜型が85株、B型（ビクトリア系統）が61株、A型亜型不明が2株、B型（系統不明）が1株となっています。



【全国】

今シーズン、これまでに検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09が193株、AH3亜型が5,303株、B型（ビクトリア系統）が2,594株、A型亜型不明が85株、B型（系統不明）が233株、C型が19株となっています（4月28日現在）。

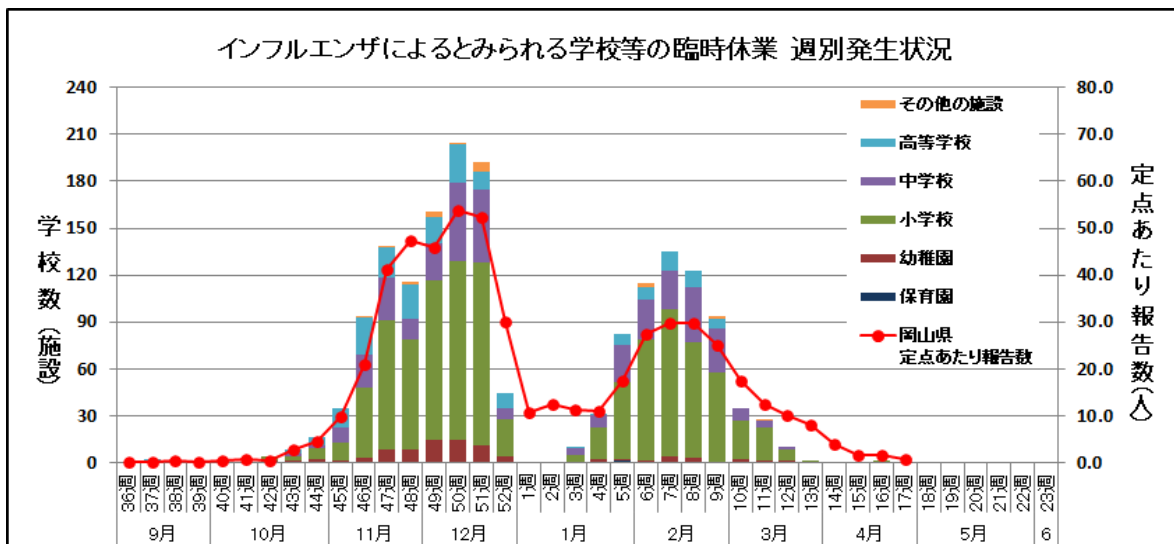
[インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立健康危機管理研究機構）](#)



※集計が異なるため一部の型が報告されていません。

4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。



臨時休業施設数の内訳

	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
第17週	0	0	0	0	0	0	0
累計	1	82	1,017	365	196	21	1,682

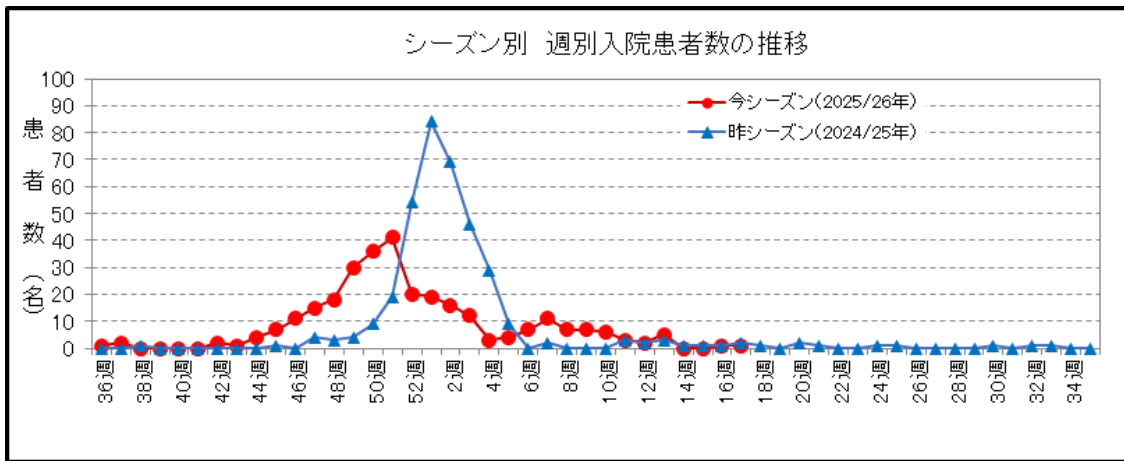
最新の臨時休業の情報については以下のホームページをご覧ください。

→ [\(R7年度シーズン\) 岡山県内の学校等におけるインフルエンザとみられる臨時休業](#)

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、1名の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずウトウトしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第17週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数											1		1
ICU入室 *													
人工呼吸器の利用 *													
頭部CT検査(予定含) *													
頭部MRI検査(予定含) *													
脳波検査(予定含) *													
いずれにも該当せず											1		1

* 重複あり

【2025年9月1日（第36週）以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	17	52	28	24	5	2	4	7	10	23	55	65	292
ICU入室 *		1	1					1	1	2	8	2	16
人工呼吸器の利用 *		1	1			1		1	1	1	1	2	9
頭部CT検査(予定含) *		1		1				2	1	5	10	8	28
頭部MRI検査(予定含) *		8	3	2				1	1		1	3	19
脳波検査(予定含) *		2		2					1				5
いずれにも該当せず	17	41	24	20	5	1	4	4	8	17	41	52	234

* 重複あり

[令和7年度 急性呼吸器感染症（ARI）総合対策に関するQ&A（厚生労働省）](#)

[令和7年度 今冬の急性呼吸器感染症（ARI）総合対策（厚生労働省）](#)

保健所別報告患者数 2026年 第17週(定点把握) (2026/04/20~2026/04/26)

2026年5月1日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	40	0.80	13	0.72	17	1.42	2	0.50	3	0.60	1	0.25	2	1.00	2	0.40
COVID-19	27	0.54	2	0.11	5	0.42	15	3.75	1	0.20	1	0.25	3	1.50	-	-
急性呼吸器感染症	2954	59.08	1380	76.67	634	52.83	187	46.75	480	96.00	133	33.25	22	11.00	118	23.60
RSウイルス感染症	19	0.68	10	1.00	3	0.43	-	-	5	1.67	-	-	-	-	1	0.33
咽頭結膜熱	5	0.18	1	0.10	3	0.43	1	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	80	2.86	36	3.60	14	2.00	1	0.50	22	7.33	1	0.50	2	2.00	4	1.33
感染性胃腸炎	156	5.57	78	7.80	19	2.71	2	1.00	29	9.67	13	6.50	3	3.00	12	4.00
水痘	14	0.50	10	1.00	1	0.14	-	-	2	0.67	-	-	1	1.00	-	-
手足口病	25	0.89	20	2.00	3	0.43	1	0.50	-	-	-	-	-	-	1	0.33
伝染性紅斑	3	0.11	1	0.10	1	0.14	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	16	0.57	6	0.60	6	0.86	-	-	2	0.67	1	0.50	-	-	1	0.33
ヘルパンギーナ	4	0.14	3	0.30	1	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	2	0.07	-	-	1	0.14	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2026年 第17週(発生レベル設定疾患) (2026/04/20~2026/04/26)

2026年5月1日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	40	0.80	13	0.72	17	1.42	2	0.50	3	0.60	1	0.25	2	1.00	2	0.40
咽頭結膜熱	5	0.18	1	0.10	3	0.43	1	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	80	2.86	36	3.60	14	2.00	1	0.50	22	7.33	1	0.50	2	2.00	4	1.33
感染性胃腸炎	156	5.57	78	7.80	19	2.71	2	1.00	29	9.67	13	6.50	3	3.00	12	4.00
水痘	14	0.50	10	1.00	1	0.14	-	-	2	0.67	-	-	1	1.00	-	-
手足口病	25	0.89	20	2.00	3	0.43	1	0.50	-	-	-	-	-	-	1	0.33
伝染性紅斑	3	0.11	1	0.10	1	0.14	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	4	0.14	3	0.30	1	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	2	0.07	-	-	1	0.14	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2026年 第17週 2026/04/20～2026/04/26)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ	40	-	-	3	-	-	-	4	1	2	1	5	7	3	4	3	2	2	-	2	1
COVID-19	27	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	5	2	4	2	2	3	2	1	3

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
急性呼吸器感染症	2954	252	1373	654	241	78	61	54	47	62	43	44	45

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	19	5	2	9	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	5	-	-	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	80	-	-	4	3	11	13	9	9	4	7	3	11	4	2
感染性胃腸炎	156	1	12	20	8	13	19	12	11	10	13	6	18	1	12
水痘	14	-	1	-	-	-	1	1	-	2	2	2	5	-	-
手足口病	25	-	7	11	4	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
伝染性紅斑	3	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	16	1	3	9	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	4	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

保健所別

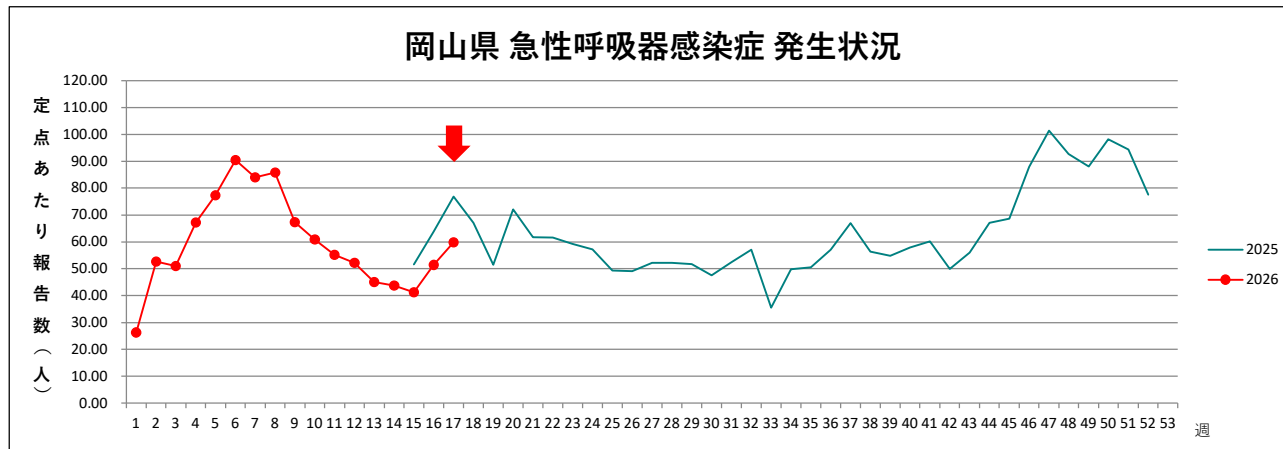
疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
急性呼吸器感染症 (ARI)	2,954	59.08	1,380	76.67	634	52.83	187	46.75	480	96.00	133	33.25	22	11.00	118	23.60

(- : 0 or 0.00)

年齢別

疾病名	合計	-12ヶ月	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
急性呼吸器感染症 (ARI)	2,954	252	1,373	654	241	78	61	54	47	62	43	44	45

(- : 0)



全数把握 感染症患者発生状況

2026年 第17週

分類	疾病名	2026			疾病名	2026			疾病名	2026		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	5	76	237	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-		-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	3	19	95
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	1	3	4	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	-	2
	エキノкокクス症	-	-	-	エムポックス	-	-	-	黄熱	-	-	-
	オウム病	-	-	-	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-
	キャサヌル森林病	-	-	-	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-
	コクシジオイデス症	-	-	-	ジカウイルス感染症	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	-	8
	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-
	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	-	-
	デング熱	-	-	1	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-	日本紅斑熱	-	-	19
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	-	-
	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	-	11	58
	レプトスピラ症	-	-	1	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	-	2	8	ウイルス性肝炎	-	-	2	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	-	4
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)		-	-	2	急性脳炎	-	4	14	クリプトスポリジウム症	-	-	-
クロイツフェルト・ヤコブ病		-	1	1	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	3	21	後天性免疫不全症候群	-	2	9
ジアルジア症		-	-	-	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	3	9	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	1
侵襲性肺炎球菌感染症		-	18	55	水痘(入院例に限る。)	-	2	6	先天性風しん症候群	-	-	-
多剤耐性緑膿菌感染症		-	-	-	梅毒	3	52	253	播種性クリプトコックス症	-	-	3
破傷風		-	1	-	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-
百日咳		1	47	2148	風しん	-	-	-	麻しん	-	-	5
薬剤耐性アシネトバクター感染症		-	-	-		-	-	-		-	-	-

